

報道関係者各位

～成蹊学園のワンキャンパスに集う小学生から大学生までが対象の教育プロジェクト～

直径4mのデジタル4次元地球儀で自然現象を視覚的に体験する**「オーロラと宇宙」をテーマにしたシンポジウムを開催**

学校法人成蹊学園（東京都武蔵野市）では、小学校・中学校・高等学校・大学がワンキャンパスの中にある利点を活かした一貫教育（学校間連携）の取り組みとして、「好奇心でつながる『成蹊オープン・ゼミ』」を2015年度から開始しています。

その『成蹊オープン・ゼミ』の第二弾企画となる“宇宙科学を楽しむ”「オーロラと宇宙」シンポジウムを、2月19日（金）に成蹊学園本館大講堂で開催します。

今回の企画では、下記のとおり、地球惑星科学の研究者である齊藤昭則先生（京都大学）と藤原仁先生（成蹊大学）が講師となり、直径4mのデジタル4次元地球儀（名称：ダジック・アース、球形のスクリーンにPCプロジェクターで地球や惑星を立体的に投影できる装置）に宇宙から見た地球を再現し、オーロラや雷などが発生する自然現象の仕組みを、先生の解説をもとに学ぶことで宇宙や地球の謎を知ることができるプログラムとなっています。

なお、第一弾企画では成蹊大学の講師陣が、成蹊中学3年生の生徒を対象に、数週間にわたるゼミ形式で最先端の科学技術や大学の学問に触れられる企画を実施しました。参加した生徒からは、早くにこのような機会をえられたことで、将来の進路にも参考になる、といった意見が多くありました。

— 記 —

【名称】：「オーロラと宇宙」シンポジウム**【日時】**：2016年2月19日（金）16：00～17：20**【会場】**：成蹊学園（東京都武蔵野市吉祥寺北町3-3-1） 本館大講堂**【対象】**：成蹊学園の小学校児童（保護者同伴）、中・高等学校生徒、大学生、教職員**【内容】**：齊藤昭則先生（京都大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻 准教授）

- ・宇宙から見た地球：オーロラ、雷、街灯りの輝き
 - ・宇宙ステーションと地球・宇宙科学
 - ・デジタル4次元地球儀「ダジック・アース」で自然現象を観る
- 藤原均先生（成蹊大学理工学部 教授、地球惑星科学研究室）
- ・オーロラの輝く世界とは：宇宙への扉に映し出される光の謎を探る
 - ・オーロラの夜は宇宙の嵐：現代社会と宇宙嵐のかかわり
 - ・宇宙の嵐とオーロラの嵐

本件に関するお問合せ先
成蹊学園 企画室 広報グループ
TEL：0422-37-3517 FAX：0422-37-3704
Email：koho@jim.seikei.ac.jp